

RJJ19B0777-0100

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38022E4DXXXSP/FP  
ROM書き込み確認書

ROM番号	
受 付 欄	年 月 日
	課長印 担当者印

(注) 印をすべて記入ください。

貴社 記入欄	貴社名	殿	TEL ( )	発 行 印	責任者印	担当者印
	発行日	年	月		日	

1. ご確認表

発注される品種名および提出いただくEPROM、またはフロッピーディスクを指定してください。

EPROMで発注される場合は1パターン当たりEPROMが3セット必要です。フロッピーディスクで発注される場合1パターン当たりフロッピーディスクが1枚必要になります。

EPROMの場合

当社では提出いただいた3セットのEPROMの内、少なくとも2セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってROM書き込みを行います。したがって、このデータと生産される製品に書き込まれたROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくEPROMデータの内容については十分に確認をお願いします。

マイクロコンピュータ形名 M38022E4DXXXSP M38022E4DXXXFP

EPROMの全領域のチェックサムコード     (16進表示)

EPROMの種類

2 7 2 5 6	2 7 5 1 2
<p>アドレス</p> <p>0000<sub>16</sub></p> <p>000F<sub>16</sub> 0010<sub>16</sub></p> <p>407F<sub>16</sub> 4080<sub>16</sub></p> <p>7FEF<sub>16</sub> 7FFF<sub>16</sub></p> <p>製品名 M38022E4D のASCIIコードを 入れる領域</p> <p>データ ROM(16K-130)バイト</p>	<p>アドレス</p> <p>0000<sub>16</sub></p> <p>000F<sub>16</sub> 0010<sub>16</sub></p> <p>C07F<sub>16</sub> C080<sub>16</sub></p> <p>FFFD<sub>16</sub> FFFF<sub>16</sub></p> <p>製品名 M38022E4D のASCIIコードを 入れる領域</p> <p>データ ROM(16K-130)バイト</p>

マイクロコンピュータのアドレス空間上、内部ROM領域としてC080<sub>16</sub> ~ FFFD<sub>16</sub>番地以外は使用することができません。なお、本製品のリセットベクトルはFFFC<sub>16</sub>、FFFD<sub>16</sub>番地(38000シリーズ共通)に格納します。

- 斜線部分には“FF<sub>16</sub>”を入れてください。
- 0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub>番地は製品形名のデータ格納領域です。  
‘M38022E4D’のASCIIコードを右記に示しますので、0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub>番地には必ず右記のデータを書き込んでください。  
番地、データとも16進表記です。

アドレス

0000 <sub>16</sub>	‘M’ = 4D <sub>16</sub>
0001 <sub>16</sub>	‘3’ = 33 <sub>16</sub>
0002 <sub>16</sub>	‘8’ = 38 <sub>16</sub>
0003 <sub>16</sub>	‘0’ = 30 <sub>16</sub>
0004 <sub>16</sub>	‘2’ = 32 <sub>16</sub>
0005 <sub>16</sub>	‘2’ = 32 <sub>16</sub>
0006 <sub>16</sub>	‘E’ = 45 <sub>16</sub>
0007 <sub>16</sub>	‘4’ = 34 <sub>16</sub>

アドレス

0008 <sub>16</sub>	‘D’ = 44 <sub>16</sub>
0009 <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000A <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000B <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000C <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000D <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000E <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>
000F <sub>16</sub>	FF <sub>16</sub>

RJJ19B0777-0100

ROM番号	
-------	--

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
 M38022E4DXXXSP/FP  
 ROM書き込み確認書

アセンブラソースプログラムの先頭に、書き込むEPROMの種類別に下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROMの0000<sub>16</sub> ~ 0008<sub>16</sub>番地に形名のASCIIコードを書き込むことができますのでご利用ください。

EPROMの種類	27256	27512
ソースプログラムへの記述	*= \$8000 .BYTE ' M38022E4D '	*= \$0000 .BYTE ' M38022E4D '

(注) EPROMに書き込まれた形名とROM書き込み確認書の形名が一致しない場合、ROM処理ができませんので正確に形名記入をお願いします。

フロッピーディスクの場合

当社では提出いただいたフロッピーディスクのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティで生成されたマスクファイル処理してROM書き込みを行います。したがって、このマスクファイルと生成される製品に書き込まれたROMデータが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

フロッピーディスクは3.5"2HD/IBMformatで用意してください。また、フロッピーディスクに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

マイクロコンピュータ形名      M38022E4DXXXSP      M38022E4DXXXFP

ファイルコード      

--	--	--	--	--	--	--	--

 (16進表示)

マスクファイル名      

--	--	--	--	--	--	--	--

 .MSK(英数字8桁)

2. マーク指定

マーク指定はパッケージの形状により異なります。別紙のマーク指定書(パッケージ別)にご記入の上、本ROM書き込み確認書に添付して提出ください。

M38022E4DXXXSPの場合はシュリンクDIPマーク指定書(ワンタイムPROM内蔵形マイクロコンピュータ専用)を、M38022E4DXXXFPの場合は64P6Nのマーク指定書を御提出ください。

RJJ19B0777-0100

ROM番号	
-------	--

ルネサスシングルチップ8ビットマイクロコンピュータ  
M38022E4DXXXSP/FP  
ROM書き込み確認書

3. 使用条件について

当社製品検査の参考とさせていただきますので、発注される製品の使用条件について質問します。

(1)  $X_{IN}$ - $X_{OUT}$ 発振回路は次のどの条件で使用されますか。

セラミック共振子                      水晶発振子  
外部クロック入力                      その他(                      )

またその周波数は何MHzですか。

$f(X_{IN}) =$   MHz

(2) マイコンの使用動作モードは次のどの条件で使用されますか。

シングルチップモード                      メモリ拡張モード  
マイクロプロセッサモード

4. 特記事項